

13年ぶりに京都市で開催！全国約1,000名の参加者とともに、地域・学校の「これから」を展望します。

全国コミュニティ・スクール研究大会 in 京都

「学校を核とした持続可能な地域社会の実現」

子どもたちの学びと育ちを支える地域社会を次世代へと受け継いでいくには、学校と地域の「共創」による取組が欠かせません。そのためのキーワードは、「コミュニティ・スクール（地域とともにある学校づくり）からスクールコミュニティ（学校を核とした地域づくり）へ」。

本大会では、全国約1,000名の教育関係者とともに、全国各地の実践や先進事例を共有しながら、これからの学校運営や地域・学校の協働の在り方について議論を深め、共に未来を展望する貴重な機会です。

是非、教職員の皆様、学校を応援いただいている地域・保護者の皆様のご参加をお待ちしています。



日時	令和8年11月14日（土）10:00-16:00（予定）
会場	国立京都国際会館（京都府京都市左京区岩倉大鷦町422）※最寄り駅：京都市営地下鉄「国際会館」
対象	学校管理職・教職員、行政職員、学校運営協議会委員、PTAなど
申込	令和8年8月頃に申込開始（再度案内します）／参加費無料

■ 京都大会で、参加者の皆様とともに考えたいこと

全国のコミュニティ・スクール設置率は64.9%と過去最高となる一方、導入の進め方や取組の質の向上に課題を抱える自治体も少なくありません。全国的にコミュニティ・スクールの一層の充実と発展に向けて、質的な向上が求められています。

京都市では、「地域の子どもは地域で育てる」という理念のもと、国の法制化以前から全国に先駆けて学校運営協議会を導入し、全市立学校園への設置が完了しました。しかし、近年、地域コミュニティの担い手不足やコロナ禍後の地域活動の減少などの地域課題が、学校と地域の協働活動に影響を及ぼし、地域人材の固定化に伴う取組の形骸化や縮小、教職員の負担感など、様々な課題が顕在化しています。

こうした状況を踏まえ、「コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへ」というビジョンを新たに掲げ、地域の学校運営への参画促進に加え、学校施設を拠点とした多様な主体による豊かな地域活動を通して、地域に活力を生み出し、その活力を教育活動の充実へと繋げる——「子どもの健全育成」と「地域活性化」の好循環による持続可能な地域社会の実現を目指しています。

本大会では、京都市をはじめ全国の参加者が、日々の取組や先進事例を共有し、意見を交わすことで、コミュニティ・スクールの質の向上に向けた方策や新たな可能性など、学校と地域の次なるステージを展望する機会としたいと考えています。

